

サミットアカデミーエレメンタリースクール長野の開校後の状況について
 県民文化部県民の学び支援課

概要

1 名称	サミットアカデミーエレメンタリースクール長野 校長 イチカワドイルウォルター
2 位置	長野市三輪9丁目11-3
3 設置者	学校法人長聖 理事長 イチカワドイル徳恵
4 学則定員	360人
5 開校年月日	令和6年4月1日

1 児童数の状況（5月1日時点）

（単位：人）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	申請時計画	定員
R6									
R7									
うち新生 (応募者数)									
県外出身者									

- ・入学試験を7月、11月、1月の年3回実施し、令和8年度生の入学試験においては、7月実施分の終了時点で、すでに令和7年度の入学者数を上回る入学予定者を確保しており、最終的には令和6年度の入学者数を超える見込みとなっている。
- ・また、過去2年間の入学者の中には、県外から「教育移住」により転居した児童も一定数含まれている。

2 教職員の状況（11月末日時点）

（単位：人）

		校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員等	合計
計画	計	1	1	1	3	1	1	8
	専任	0	0	1	3	1	1	6
	兼任	1	1	0	0	0	0	2
R7	計	1	1	1	10	1	2	16
	専任	0	0	0	9	1	1	11
	兼任	1	1	1	1	0	1	5
差	計	0	0	0	7	0	1	8
	専任	0	0	▲1	6	0	0	5
	兼任	0	0	1	1	0	1	3

- ・教職員の確保については、外国人教諭を外部からの派遣でなく直接雇用としたことにより計画時より多く充足している。
- ・1学年2クラス増となる来年度に向けても、日本人・外国人教諭ともに新規採用により確保できる見通しが立っている。ただし、その後3年間も教員の増員が不可欠であるため、継続的な人材確保が今後の課題である。
- ・指導体制としては、英語による授業の際に、英語理解が不十分なことが教科内容の理解を妨げることはないよう、日本人教諭が補助的に教室に入り、必要に応じて児童を支援している。

3 教育の特徴等

- ・本校では、算数、生活、体育、図画工作などの教科において、ネイティブの外国人教諭が英語で授業を行っている。
- ・ホームルーム担任には日本人教諭と外国人教諭の両名を配置しており、教科指導以外の時間を含めた英語による活動は、全体の約6割を占めている。
- ・毎朝実施している「英語モジュール」と呼ばれる英語活動の時間では、児童が身体を動かしながら活動しており、一日を前向きに過ごす意欲づくりに寄与している。
- ・国語や道徳、音楽などは日本語で実施し、世界のどこでも通用するスキルやマインドと、日本の文化や言語を通して育まれる資質の双方を養うことを目指している。
- ・今後は、子どもたちの興味や関心を学びへとつなげ、探究心を培う授業づくりを一層推進していく。

4 収支決算